

創立50周年記念

産業カウンセラー等の実態調査

ご協力をお願い

社団法人日本産業カウンセラー協会は、2010年11月に創立50周年を迎えることとなります。会員をはじめ皆様方のご尽力とご協力のおかげで、2008年度には、産業カウンセラー等の協会認定資格取得者は3万人を超え、会員は2万人に達しようとしております。

昨年は世界中が100年に1度という金融危機に見舞われ、わが国の雇用・労働環境も一層厳しい状態に陥りました。その影響で、産業カウンセリングの3つの活動領域での私たちに対する社会からの要請はさらに増すものと思われ、協会として今後産業カウンセリングの啓発、普及に一層力を入れていかなければなりません。

それには「産業カウンセラー」「シニア産業カウンセラー」「キャリア・コンサルタント」（これまでの資格名も含み、以下「産業カウンセラー等」とします）の資格取得者およびこれから資格を取ろうとお考えの会員の方々が、現在どのような状況におられ、どのような活動をなさり、どのような問題に直面されているかについての正確なデータを収集し、産業カウンセラー等の資質の維持・向上の支援策（養成、指導者育成も含め）を考え、早急に具体化する必要があります。

そこでこの度、昨年度に再出発した協会の産業カウンセリング研究所が中心となって「産業カウンセラー等実態調査委員会」が設置され、主に資格取得者の方々の実態と意識を調査することにいたしました。

これまで2000年の創立40周年時および2006年時には、会員対象に同様の調査がなされ有益なデータが得られましたが、今回は、主に資格取得者を対象とした初めての大規模な調査ですので是非ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、調査にご協力いただいた方には抽選により特典を、また会員のうち資格登録者には資格更新に必要なポイントを贈呈いたします。さらに、調査結果の「概要報告書」を全員にお送りするほか、協会ホームページへの掲載、2010年度の全国研究大会での報告も予定しております。

今後、同じ内容の調査を定期的 to 実施し、皆様の実態および意識の変化を追うことも計画しております。

2009年6月

(社) 日本産業カウンセラー協会
産業カウンセリング研究所
(産業カウンセラー等実態調査委員会)

* 次のページに、回答の仕方などについてのお願いがありますので、必ずお読みください。

<はじめに>

- ・本調査への回答は無記名で結構です。
- ・回答いただいた情報は、統計的に処理し、調査分析の目的以外に使用することはありません。
- ・2009年6月1日現在のあなたの状況について回答してください。
- ・回答にかかる時間は、おおむね30分程度です。

<用紙について>

- ・本冊子のiv、vページに「回答用紙」、viページに「自由意見用紙」がありますので、まず「回答用紙」と「自由意見用紙」をミシン目で切り離してください。
- ・質問への回答は全て「回答用紙」または「自由意見用紙」に記入してください。
- ・「特典」と「ポイント」の希望者は、iiページとiiiページの「応募用紙」（表裏）をミシン目で切り離して必要事項を記入してください。

<質問構成について>

- ・質問内容は、大きく6つのテーマに分かれ、全部で26の質問項目があります。
- ・ただし、質問によっては産業カウンセラー等の資格を取得していない会員の方、その質問に該当しない方は、回答しなくてよいものがあります。また、選択項目によっても、その後の回答の仕方が分かれる場合があります。
- ・これらの場合は、質問文の最後に「……→（質問7に進んでください）」などの指示がありますので、それにしたがって進めてください。

<回答の仕方について>

- ・各質問には回答選択項目がついていますので、回答はその項目の中から選んでください。
- ・回答選択項目には、1, 2, 3などそれぞれ番号がついていますので、「回答用紙」の回答欄の同じ番号を○で囲んでください。
- ・質問文の末尾に、「全て」「1つ」「3つ以内」「5つ以内」などと回答を選ぶ個数が書いてありますので、その指定にしたがって選んでください。
- ・「自由意見用紙」には、この調査や質問内容、資格、協会などへのご意見ご要望がありましたらご自由にお書きください（任意です）。
- ・筆記用具は、鉛筆（シャープペンシル可）を使ってください。訂正は消しゴムで消してから正しい番号を○で囲み直してください。

<返送の方法について>

- ・最後にもう一度全ての該当する質問に適正に回答されていることを確認してください。
- ・「回答用紙」（ご意見を書いた方は「自由意見用紙」も）を三つ折りにして返信用封筒に入れて投函してください（切手は不要です）。
- ・「特典」と「ポイント」の応募用紙は、希望の方のみ同じ封筒に入れてください。

返信用封筒は、2009年7月20日（月・祝日）までに投函してください。

* 本調査についての質問等は下記宛てEメールまたはFAXでお願いいたします。

(社) 日本産業カウンセラー協会内 産業カウンセリング研究所

担当：服部奈保子

E-mail : chousa@counselor.or.jp

F A X : 03-3438-0533

[ご回答協力者の特典 その1]

○回答用紙を返送された方には、ご協力のお礼として、次の6つの特典の中から希望のものを1つお選びいただき、それぞれの希望者の中から抽選で各規定人数の方に贈呈いたします。

- | | | |
|-----|--|--|
| A : | 「産業カウンセラー等の実態調査 最終報告書」(2010年4月発送予定)・50名
(全員に送付する「概要報告書」の元になった詳しい報告書で、非売限定版です) | |
| B : | 「第40回全国研究大会(設立50周年記念)」の招待券(12,000円相当)・5名
(2010年6月5, 6日東京で開催/参加費のみ無料。交通費等は含まれません) | |
| C : | 「カウンセリング特別講演会(ミック・クーパー博士)」の招待券・・・50名
(2009年8月29日、都内および各支部にてインターネット・ビデオ方式で開催します)
(講演者および講演内容については、当協会ホームページにてご確認ください) | |
| D : | 協会発行DVD「『ノー』と言えずに」(定価4,900円)・・・・・・・・・・10名 | |
| E : | 協会発行「新版産業カウンセリング―事例に学ぶ―」(定価2,310円)・・・10名 | |
| F : | 図書カード(500円分)・・・・・・・・・・・・・・・・・・200名 | |

○抽選は、本調査の返送締切日後の8月上旬に協会事務局長立会いの下、厳正に行います。
当選者には、当選通知とそれぞれの希望の品を直接お送りいたします。

○特典を希望される方は、下の応募用紙に希望の特典の記号、住所、氏名、電話番号を記入の上、必ずミシン目で切り離して「回答用紙」と一緒に返信用封筒に入れて返送してください。

*ただし、応募の際に返送用の氏名・住所をお書きいただく関係上、回答者の匿名性が形式上失われることをご了解ください。当然ながら開封直後に「回答用紙」と「応募用紙」は別々に処理いたしますので、回答内容の秘密は厳守いたします。

キリトル

特典応募用紙

1. 希望する特典(以下のA~Fの中から1つだけ○をつけてください。)

A B C D E F

2. 特典送付先の住所

〒 -

3. お名前

4. 平日の連絡先電話番号 :

(不着時の確認のため)

[ご回答協力者の特典 その2]

○回答用紙を返送された方で、協会に資格登録をしている方のうち希望者全員に、資格更新に必要なポイントを付与します。

○付与する特典は、2ポイントです。

○[特典 その1]に応募した方も、応募できます。

○ポイント付与を希望される方は、下の「ポイント応募用紙」に「資格登録証」記載の氏名と登録番号、確認のための生年月日を記入の上、必ずミシン目で切り離して「回答用紙」と一緒に返信用封筒に入れて返送してください。

*ただし、応募の際に付与用の氏名・登録番号・生年月日をお書きいただく関係上、回答者の匿名性が形式上失われることをご了解ください。当然ながら開封直後に「回答用紙」と「応募用紙」は別々に処理いたしますので、回答内容の秘密は厳守いたします。

＜資格登録証の例＞



キリトル

ポイント応募用紙

1. お名前

	姓	名
フリガナ		
漢字		

2. 登録番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(「資格登録証」記載の「登録番号」を記入してください。)

3. 生年月日

(西暦) 年 月 日

* 本人確認のため必要です。必ずお書きください。

産業カウンセラー等の実態調査 回答用紙

○各質問の回答は、該当する選択項目の番号を○で囲んでください。

○その際、指定の選択回答数を守ってください。

最初に、あなたがお持ちの資格についてうかがいます。

質問1 (該当するもの全て)		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 ()					
質問2 (各1つ)	(1)産業カウンセラー	1	2	3	4	5	6	7											
	(2)シニア産業カウンセラー	1	2	3	4	5	6	7											
	(3)キャリアコンサルタント	1	2	3	4														
質問3 (各3つ以内)	(1)産業カウンセラー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15 ()
														11			12	13	14
	(2)シニア産業カウンセラー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15 ()
														11			12	13	14
	(3)キャリアコンサルタント	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15 ()
														11			12	13	14

資格取得の動機や経緯、今後についてうかがいます。

質問4 (各3つ以内)	(1)産業カウンセラー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15 ()	
														11			12	13	14
	(2)シニア産業カウンセラー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15 ()	
														11			12	13	14
	(3)キャリアコンサルタント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15 ()	
														11			12	13	14
質問5 (各1つ)	(1)産業カウンセラー	1	2	3															
	(2)シニア産業カウンセラー	1	2	3															
質問6 (該当するもの全て)		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12 ()			
													11			12 ()			

産業カウンセラー等としての活動についてうかがいます。

質問7(1つ)	1	2	3																
質問8 (3つ以内)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13 ()			
													11			12 ()			
質問9(1つ)	1	2	3																
質問10 (3つ以内)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12 ()				
													11			12 ()			
質問11 (3つ以内)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	13	14	15	16 ()	
													11			12	13	14	15
質問12(2つ以内)	1	2	3	4	5	6	7 ()												

質問13 (5つ以内)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	20 ()									
質問14(1つ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12								
質問15(1つ)	1	2	3	4	5	6	()			

産業カウンセラー等としての特性と育成についてうかがいます。

質問16 (上位3つ以内)	0	1	2	3	4	5	6	7			
	8 ()										
質問17 (3つ以内)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15 ()						

産業カウンセラー等の活動への協会の役割についてうかがいます。

質問18(1つ)	1	2	3								
質問19 (3つ以内)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	11 ()										

最後に、あなたのプロフィールについてうかがいます。

質問20(1つ)	1	2									
質問21			歳								
質問22 (1つ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
	41	42	43	44	45	46	47				
質問23 (1つ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12 ()									
質問24 (各1つ)	(1)業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17 ()			
	(2)組織全体の人数	1	2	3	4	5	6	7			
	(3)関心の程度	1	2	3	4	5					
	(4)職種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25 ()						
質問25(1つ)	1	2	3								
質問26(2つ以内)	1	2	3	4	5	6	7	8	()		

ご協力ありがとうございました。

2009年7月20日(月・祝日)までに、ご投函ください。

自由意見用紙

○ご意見、ご感想、ご要望等をご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2009年7月20日(月・祝日)までに、ご投函ください。

*まず「回答用紙」「自由意見用紙」を切り離してから回答してください。

最初に、あなたがお持ちの資格についてうかがいます。

質問1 あなたが取得しているカウンセリング関連資格について、次の中から該当するものを全て選んで、別紙の回答欄の同じ番号を○で囲んでください。

0 : ない▶ (これを選んだ方は、質問6へ進んでください)

1 : 産業カウンセラー (初級産業カウンセラー)

2 : シニア産業カウンセラー (中級産業カウンセラー)

3 : (協会認定) キャリアコンサルタント

4 : (他団体認定) キャリアコンサルタント

5 : 2級キャリア・コンサルティング技能士

6 : 臨床心理士

7 : 認定カウンセラー (日本カウンセリング学会)

8 : 教育カウンセラー

9 : 交流分析士

10 : 家族相談士

11 : 論理療法士

12 : その他 ()

.....▶ (上記4~12だけを選んだ方は、質問6へ進んでください)

質問2 あなたは、協会認定の次の(1) (2) (3)のいずれかの資格を取得して何年になりますか?

取得後の経過年数を次の中から1つ選んで、別紙の回答欄の同じ番号を○で囲んでください。

*複数の資格をお持ちの方は、その全ての資格についてお答えください。

(1) 産業カウンセラー (初級産業カウンセラー)

1 : 1年未満

2 : 1年以上、3年未満

3 : 3年以上、5年未満

4 : 5年以上、10年未満

5 : 10年以上、15年未満

6 : 15年以上、20年未満

7 : 20年以上

.....▶ 回答欄の(1) 産業カウンセラーに記入

(2) シニア産業カウンセラー (中級産業カウンセラー)

1 : 1年未満

2 : 1年以上、3年未満

3 : 3年以上、5年未満

4 : 5年以上、10年未満

5 : 10年以上、15年未満

6 : 15年以上、20年未満

7 : 20年以上

.....▶ 回答欄の(2) シニア産業カウンセラーに記入

(3) キャリアコンサルタント (2003年度以降)

1 : 1年未満

2 : 1年以上、3年未満

3 : 3年以上、5年未満

4 : 5年以上

.....▶ 回答欄の(3) キャリアコンサルタントに記入

質問3 協会認定の次の(1)(2)(3)のいずれかの資格を取得したことで、あなたの状況や気持などに変化がありましたか？

*「ない」場合は、下記の0：とくになかったを選んでください。

*「あった」場合、それはどのようなことですか？ 下記の1～15の変化の中から主なもの3つ以内を選んで、別紙の該当する回答欄(1)(2)(3)の同じ番号を○で囲んでください。

*複数の資格をお持ちの方は、その全ての資格についてお答えください。

(1) 産業カウンセラー(初級産業カウンセラー)の場合については

.....▶ 回答欄の(1) 産業カウンセラーに記入

(2) シニア産業カウンセラー(中級産業カウンセラー)の場合については

.....▶ 回答欄の(2) シニア産業カウンセラーに記入

(3) キャリアコンサルタントの場合については

.....▶ 回答欄の(3) キャリアコンサルタントに記入

0：とくになかった

1：正規雇用で就職できた

2：自営で開業した

3：契約雇用(非常勤、派遣、嘱託など)が決まった

4：ボランティアで活動することになった

5：勤務先での待遇(給与、手当など)がよくなった

6：勤務先での職務として、メンタルヘルス、キャリア開発、組織開発関係の相談、教育訓練などの業務につけた(職務の転換)

7：勤務先での主たる業務ではないが、メンタルヘルス、キャリア開発、組織開発関係も行なうようになった(職務の拡大)

8：勤務先での業務ではないが、同僚・部下、友人、家族などから個人的に相談を持ちかけられることが増えた

9：同僚・部下、友人、家族など周りの人の自分を見る目が変わった

10：名刺や履歴書に書ける資格が増えてよかった

11：自分自身に自信がつき、ゆとりができた

12：他の資格取得ステップへ進む励みになった

13：「資格がある」ということで周りから期待され、プレッシャーを感じた

14：日常の人づき合いで自分や他者の言動に留意するようになった

15：その他()

資格取得の動機や経緯、今後についてうかがいます。

質問4 あなたが協会認定の次の(1)(2)(3)のいずれかの資格を取られたときの動機は何ですか？

下記の1～15の動機の中から主なもの3つ以内を選んで、別紙の該当する回答欄(1)(2)(3)の同じ番号を○で囲んでください。

*複数の資格をお持ちの方は、その全ての資格についてお答えください。

(1) 産業カウンセラー(初級産業カウンセラー)の動機については

.....▶ 回答欄の(1) 産業カウンセラーに記入

(2) シニア産業カウンセラー(中級産業カウンセラー)の動機については

.....▶ 回答欄の(2) シニア産業カウンセラーに記入

(3) キャリアコンサルタントの動機については

.....▶ 回答欄の(3) キャリアコンサルタントに記入

1: 友人や知人、家族に勧められたから

2: 勤務先の上司などから職務上必要だと勧められたから

3: 勤務先での自分の職域を広げたかったから

4: これからの就職や転職の際に有利になると思ったから

5: 就職や転職の際に必須条件と言われたから

6: カウンセリング(キャリアカウンセリングを含む)に関わる仕事に就きたかったから

7: とりあえず産業カウンセラー等の資格をもっておこうと思ったから

8: カウンセラー(キャリアコンサルタントを含む)としてのレベルアップをしたかったから

9: 心理学やカウンセリング(キャリアカウンセリングを含む)の勉強をしたかったから

10: 自分自身の生きがい、ライフワークとしたかったから

11: 生き方(キャリア問題を含む)や対人関係など自分自身が抱える心の問題を解決したかったから

12: 友人や知人、家族など周りの人の援助の必要性に迫られたから

13: 心の問題(キャリア問題を含む)を抱えた人を広く援助したかったから

14: 他の資格を取得するためなどのワンステップだったから

15: その他()

質問5 (すでに協会認定の次の(1)か(2)の資格を取られた方へ)

あなたは、次の資格をどの受験資格で取られましたか？

下記の1～3の受験資格の中から1つ選んで、別紙の該当する回答欄(1)(2)の同じ番号を○で囲んでください。

*両方の資格をお持ちの方は、両方の資格についてお答えください。

(1) 産業カウンセラー(初級産業カウンセラー)については

.....▶ 回答欄の(1) 産業カウンセラーに記入

(2) シニア産業カウンセラー(中級産業カウンセラー)については

.....▶ 回答欄の(2) シニア産業カウンセラーに記入

- 1 : 協会が主催(もしくは協会が委託)する養成講座・通信講座・シニアコース講座(向上訓練)などを経て
- 2 : カウンセリング業務または人事労務管理業務に通算4年(シニアは10年)以上従事して
- 3 : 大学で心理学または心理学隣接諸科学を専攻し学士(シニアは修士以上)の学位を取って

質問6 今後、あなたが取得したいと思われるカウンセリング関連資格について、次の中から該当するものを全て選んで、別紙の回答欄の同じ番号を○で囲んでください。

0 : とくにない

- 1 : 産業カウンセラー
- 2 : シニア産業カウンセラー
- 3 : (協会認定) キャリアコンサルタント
- 4 : (他団体認定) キャリアコンサルタント
- 5 : 2級キャリア・コンサルティング技能士
- 6 : 臨床心理士
- 7 : 認定カウンセラー(日本カウンセリング学会)
- 8 : 教育カウンセラー
- 9 : 交流分析士
- 10 : 家族相談士
- 11 : 論理療法士
- 12 : その他()

産業カウンセラー等としての活動についてうかがいます。

* 協会認定の産業カウンセラー等の資格をお持ちでない方は、質問16へ進んでください。

質問7 あなたは現在、産業カウンセラー等の資格（以下「資格」とする）を取得していることを、周囲に明示（公示または公表）していますか？

次の中からどれか1つを選んでください。

- 1：自分の名刺に記載、または事務所に公示、または勤務先の上司に公表（報告）している
.....▶（質問9へ進んでください）
- 2：職場・家族などの身近な人には個人的に言っているが、勤務先等には公にしてい
ない
.....▶（次の質問8へ進んでください）
- 3：誰にも言っていない
.....▶（次の質問8へ進んでください）

質問8（質問7で2か3を選んだ方へ）

あなたが「資格」を「公にしていない」「言っていない」理由はなぜですか。
次の中から主なもの3つ以内を選んでください。

0：とくにない

- 1：勤務先や周囲に「資格」に関係するような問題がないから
- 2：どういう「資格」か、社会的にまだ認知されていないから
- 3：「資格」について説明しても、誤解されたり敬遠されたりするから
- 4：他の類似のカウンセリング資格に比べて見劣りする感じがするから
- 5：勤務先での現在の担当職務では「資格」は関係が薄いから
- 6：「資格」を明示（公表）しても周りや勤務先の評価や処遇は変わらないから
- 7：技能や経験が不足していて「資格」明示（公表）に自信がないから
- 8：「資格」は取ったが、自分は産業カウンセラー等に向いていないと思うから
- 9：「資格」取得は勤務先の担当職務遂行の一助にするためだったから
- 10：「資格」取得は自分自身の勉強や生きがいのためだったから
- 11：「資格」を使ってどういう場で活動ができるか分からないから
- 12：他の資格を取得するためなどのワンステップだったから
- 13：その他（
.....▶（次の質問9へ進んでください）

質問9 あなたは現在、産業カウンセラー等の「資格」取得により培ったスキルを、どの程度活かして活動（以下「活動」^①とする）していると思いますか？

次のどれか1つを選んでください。

① スキルを活かした「活動」とは、産業カウンセリングの活動領域である「メンタルヘルス・ケア」「キャリアカウンセリング」「人間関係開発」のほか、職場や日常生活での活動を含みます。

- 1：大いに活かして「活動」している▶（質問11へ進んでください）
- 2：まあ活かして「活動」している▶（質問11へ進んでください）
- 3：ほとんど活かして「活動」していない▶（次の質問10へ進んでください）

質問10 (質問9で3を選んだ方へ)

あなたが「資格」取得により培ったスキルを「ほとんど活かして「活動」していない」理由はなぜですか？

次の中から主なもの3つ以内を選んでください。

0 : とくにない

- 1 : 勤務先や周囲に「活動」に関係するような問題がないから
- 2 : 「活動」がどういうことか、社会的にまだ認知されていないから
- 3 : 「活動」について説明しても、誤解されたり敬遠されたりするから
- 4 : 勤務先での現在の担当職務では「活動」とは関係が薄いから
- 5 : 「活動」をしても周りや勤務先の評価や処遇は変わらないから
- 6 : 技能や経験が不足していて「活動」に自信がないから
- 7 : 「資格」は取ったが、自分は産業カウンセラー等に向いていないと思うから
- 8 : 「資格」取得は「活動」をするためというより、自分自身の勉強や生きがいのためだったから
- 9 : 「資格」を使ってどういう場で「活動」ができるか分からないから
- 10 : 「活動」をしたくても現実にその機会や場がないから
- 11 : 「資格」取得は、他の資格を取得するためのワンステップだったから
- 12 : その他 ()

.....➡ (質問16へ進んでください)

質問11 (質問9で1か2を選んだ方へ)

あなたは現在、「活動」をどのような場所で行なっていますか？

次の中から主なもの3つ以内を選んでください。

- 1 : 自営の事務所の相談室で
- 2 : 一般企業内の相談室で
- 3 : 一般企業内の相談室以外の職場（オフィス、会議室など）で
- 4 : 外部EAP機関で
- 5 : 官公庁・自治体の相談室で（ハローワークは除く）
- 6 : 官公庁・自治体の相談室以外の職場（オフィス、会議室など）で（ハローワークは除く）
- 7 : ハローワーク（ジョブカフェ、ヤングワークプラザなどを含む）で
- 8 : 公益法人（当協会を除く）・組合（共済・健保など）の相談室で
- 9 : 公益法人（当協会を除く）・組合（共済・健保など）の相談室以外の職場（オフィス、会議室など）で
- 10 : (社)日本産業カウンセラー協会の相談室や講座、事務所で
- 11 : 病院・診療所・クリニックで
- 12 : 児童、老人、障害者等の福祉施設で
- 13 : 学校等の教育機関で
- 14 : 地域（自治会、公民館、婦人会館などの相談室）で
- 15 : 自宅、相手宅、喫茶店などプライベートな場所で
- 16 : その他 ()

質問 1 2 あなたは現在、「活動」をどのような形態で行なっていますか？

次の中から主なもの2つ以内を選んでください。

- 1 : 自営で
(自分で相談室等事務所を構えて)
- 2 : 常勤雇用の主たる業務で
(企業、EAP、自治体、病院、学校、団体(協会)などの組織で)
- 3 : 常勤雇用の主たる業務以外で
(企業、EAP、自治体、病院、学校、団体(協会)などの組織で)
- 4 : フリーランサーで(契約や派遣、パート雇用されて)
(企業、EAP、自治体、病院、学校、団体(協会)などの組織で)
- 5 : ボランティアで
(交通費等の実費支給程度で、企業、自治体、学校、病院、団体(協会)などの組織で)
- 6 : プライベートで
(同僚・部下、友人、知人の範囲で)
- 7 : その他 ()

質問 1 3 あなたが現在行なっている「活動」の内容は、どのようなものですか？

次の中から主なもの5つ以内を選んでください。

- 1 : メンタルヘルス・ケアの個人面接(グループ面接、電話相談も含む)
- 2 : メンタルヘルス・ケアの教育研修講師
- 3 : メンタルヘルス・ケアのコンサルテーション
- 4 : メンタルヘルス・ケアの企画や制度設計やその運営
- 5 : 職場復帰支援
- 6 : キャリアカウンセリングの個人面接(グループ面接、電話相談も含む)
- 7 : キャリアカウンセリングの教育研修講師
- 8 : キャリアカウンセリングのコンサルテーション
- 9 : キャリアカウンセリングの企画や制度設計やその運営
- 10 : 人間関係開発^注の職場での実践
- 11 : 人間関係開発の教育研修講師
- 12 : 人間関係開発のコンサルテーション
- 13 : 人間関係開発の企画や制度設計やその運営
- 14 : スーパーバイザー業務
- 15 : アセスメント業務
- 16 : 職場の部下の指導や管理
- 17 : 職場の同僚などとの対人関係向上
- 18 : 職場外の友人や家族との対人関係向上
- 19 : 自分自身の生き方の見直し、自己啓発
- 20 : その他 ()

^注人間関係開発とは、職場の人間関係や組織風土を改善するための実践的教育的働きかけを指す。

質問14 (質問12で1か2か4を選んだ方は、この質問に答えた後、質問15に進んでください。その他の方は直接、質問15に進んでください)

あなたが現在行なっている全ての「活動」で得る報酬は、2008年の年間総額(税込み)でどのくらいですか？

次の中からどれか1つを選んでください。

- 1 : 50万円未満
- 2 : 50万円以上、100万円未満
- 3 : 100万円以上、200万円未満
- 4 : 200万円以上、300万円未満
- 5 : 300万円以上、400万円未満
- 6 : 400万円以上、500万円未満
- 7 : 500万円以上、600万円未満
- 8 : 600万円以上、700万円未満
- 9 : 700万円以上、800万円未満
- 10 : 800万円以上、900万円未満
- 11 : 900万円以上、1000万円未満
- 12 : 1000万円以上

質問15 あなたが現在行なっている産業カウンセラー等としてのスキルを活かした全ての「活動」の1ヶ月の平均的な日数はどのくらいですか？

次の中からどれか1つを選んでください。

- 1 : 1日以上、2日未満
- 2 : 2日以上、5日未満
- 3 : 5日以上、10日未満
- 4 : 10日以上、20日未満
- 5 : 20日以上
- 6 : その他 ()



産業カウンセラー等としての特性と育成についてうかがいます。

質問 16 あなたご自身は、産業カウンセラー等として次の1～8の特性のうち、さらにどれを身につけたいと思いますか？

次の1～8の特性の中から、とくに身につけたいものを上位3つ以内選んでください。

0：とくにない

1：カウンセリング関連技能（スキル）

（傾聴、面接、各種療法、心理アセスメント、ファシリテーション、コンサルテーションなどの専門スキルを身につけていて使えること）

2：カウンセリング専門知識

（カウンセリング理論・臨床心理学・各種療法・心理検査・産業組織心理学・精神保健関係法規の知識などをもっていて使えること）

3：カウンセリング関連知識

（労働関係法規、産業経済・社会文化の動向、自分の関係する組織の情報などをもっていて使えること）

4：ものの見方・考え方

（人間尊重の人間観・労働観・倫理観・人権意識・民主・平等意識、責任意識、科学的論理的思考を身につけていること）

5：自分についての認識

（自分を客観視でき、コントロール（安定）性、透明性、受容・共感・配慮性、寛容・柔軟性、謙虚さ、ポジティブさ、感受性を保てていること）

6：経験

（個人面接、スーパーバイジング、ベイシック・エンカウンター・グループ、コンサルテーション、組織内での労働などの経験を積んでいること）

7：マネジメント力

（業務やチームのマネジメント力、交渉・発表・文章作成などのコミュニケーション力、調査・研究、講義・研修などのスキルを身につけていて使えること）

8：その他（

）



最後に、あなたのプロフィールについてうかがいます。

質問20 あなたの性別は？

次の中からどちらか1つを選んでください。

- 1：女 2：男

質問21 あなたの年齢は？

本年6月1日現在のあなたの年齢を、別紙の回答欄に数字で記入してください。

質問22 あなたの現在の居住地（都道府県）は？

次の中から1つを選んでください。

- | | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 1：北海道 | 2：青森 | 3：岩手 | 4：宮城 | 5：秋田 | 6：山形 |
| 7：福島 | 8：栃木 | 9：群馬 | 10：茨城 | 11：埼玉 | 12：千葉 |
| 13：東京 | 14：神奈川 | 15：山梨 | 16：新潟 | 17：長野 | 18：富山 |
| 19：石川 | 20：福井 | 21：岐阜 | 22：静岡 | 23：愛知 | 24：三重 |
| 25：滋賀 | 26：京都 | 27：大阪 | 28：兵庫 | 29：奈良 | 30：和歌山 |
| 31：岡山 | 32：広島 | 33：山口 | 34：鳥取 | 35：島根 | 36：徳島 |
| 37：香川 | 38：愛媛 | 39：高知 | 40：福岡 | 41：佐賀 | 42：長崎 |
| 43：大分 | 44：熊本 | 45：宮崎 | 46：鹿児島 | 47：沖縄 | |

質問23 あなたの現在のお立場は？

次の中からメインのものを1つを選んでください。

- 1：正社員（常勤雇用者）
2：契約社員
3：派遣社員
4：パート・アルバイト
5：非常勤（顧問など）
6：経営者（自営業主）
7：休職中
8：無職（求職中）
9：定年退職者
10：主婦
11：学生
12：その他（ ）

質問24 (現在、企業や団体などで働いていらっしゃる方へ)

.....➡ (そうでない方は質問25へ進んでください)

(1) あなたの所属する勤務先の業種は何ですか？

次の中からメインのものを1つ選んでください。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 : 農業・水産・鉱業 | 10 : 飲食・宿泊業 |
| 2 : 建設業 | 11 : 医療業 |
| 3 : 製造業 | 12 : 福祉業 |
| 4 : 電気・ガス・水道業 | 13 : 教育・学習支援業 |
| 5 : 情報通信業 | 14 : サービス業 ^注 |
| 6 : 運輸業 | 15 : 公務 |
| 7 : 卸売・小売業 | 16 : 自営の相談室や外部EAP機関 |
| 8 : 金融・保険業 | 17 : その他 () |
| 9 : 不動産業 | |

^注ここでいう「サービス業」とは、郵便・協同組合などの複合サービス、法律・会計・設計・著述・芸術・学術研究などの専門サービス、理容・旅行・娯楽などの生活関連サービス、広告、政治経済文化団体、宗教他のことです。

(2) 所属する勤務先の組織全体の人数はどのくらいですか？

次のうちからどれか1つを選んでください。

- 1 : 10人未満
- 2 : 10人以上、50人未満
- 3 : 50人以上、300人未満
- 4 : 300人以上、1000人未満
- 5 : 1000人以上、3000人未満
- 6 : 3000人以上、10000人未満
- 7 : 10000人以上

(3) 所属する勤務先の組織全体の、産業カウンセリング等の活動への関心はどの程度ですか？

次のうちからどれか1つを選んでください。

- 1 : 組織全体として関心はかなり高い
- 2 : 組織全体として関心はほどほどに高い
- 3 : 組織全体として関心はあまり高くない
- 4 : 組織全体として関心は低い
- 5 : よく分からない

(4) あなたの職種は何ですか？

次の中からメインのものを1つ選んでください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 1：農林漁業職 | 14：心理職（家裁調査官、心理判定員など） |
| 2：生産労務職 | 15：経営コンサルタント（公認会計士、税理士、
中小企業診断士など） |
| 3：運輸通信職 | 16：社会保険労務士、司法書士、行政書士 |
| 4：営業販売職 | 17：弁護士 |
| 5：一般事務職 | 18：学校教員 |
| 6：人事労務職 | 19：教育研修職（塾講師、インストラクター） |
| 7：サービス職 ^㉞ | 20：医師 |
| 8：技術職（SEなど） | 21：保健・看護職 |
| 9：研究職 | 22：その他医療職（薬剤師、医療関係技師など） |
| 10：保安職（自衛官・警察官・警備員） | 23：介護職（介護福祉士、介護ヘルパーなど） |
| 11：経営職（自営業主） | 24：福祉職（社会福祉士、精神保健福祉士など） |
| 12：管理職 | 25：その他（ |
| 13：カウンセラー（キャリアコンサルタントを含む） | ） |

㉞ここでいう「サービス職」とは、家事サービスヘルパー、理・美容師、調理師、ウェイター・ウェイトレス、ホテル・バーの接客係などの個人サービス、ビル・マンション管理人、旅行添乗員などの管理サービスに従事する人のことです。

質問25 現在あなたは、協会発行の「資格登録証」をお持ちですか？

次の中から1つ選んでください。

- 1：持っている
- 2：まだ資格を取っていないので持っていない
- 3：資格は取っているが持っていない ……………→（次の質問26へ進んでください）

質問26（質問25で3の「資格は取っているが持っていない」を選んだ方へ）

あなたが資格登録をされていない理由はなぜですか？

次の中から2つ以内を選んでください。

- 1：現在、産業カウンセリングにかかわる「活動」をしていないから
- 2：協会のあり方や事業に疑問を感じるから
- 3：資格登録料が高いから
- 4：資格登録しても得られるメリットが少ないと思うから
- 5：カウンセリング自体に関心がなくなったから
- 6：資格登録の仕方が分からないから
- 7：資格取得だけが主目的だったから
- 8：その他（

※ この調査や質問内容、資格、協会、研究所などへのご意見ご要望がありましたら、viページにある「自由意見用紙」にお書きください。

長い時間ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。



産業カウンセラー等実態調査委員会

委員長 渡邊 忠

委員 和田 幸子

委員 井田 喜治

委員 奥 憲太

事務局 服部奈保子

(アドバイザー) 菰田 孝行